4 計画の体系

将来像	基本理念	基本目標	施策の方向	達成された姿
誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる地域包括ケア社会	見守り、つながり、支え合い、一人一人が尊重される地域づくり	基本目標１ 互いに認め合い、一人一人が尊重され、地域で安心して暮らせるまち（人づくり）	１　地域で支え合う人づくり	「支える側」と「支えられる側」の関係を超えて誰もが活躍できる地域ができている。
			２　福祉に対する理解の促進	福祉の啓発や学習の機会が充実し、お互いに理解し、尊重し合える関係ができている。
			３　地域を支えるネットワークづくり	地域の課題や社会資源が地域で共有され、地域を支えるネットワークが活用されている。
		基本目標２ 住民の絆が深まり、地域で支え合う共生のまち（地域づくり）	４　地域における居場所づくり	地域内の至る所に気軽に集える居場所があり、世間話やおしゃべりをしながら楽しい時間を過ごすことで、地域とのつながりが強まり、絆が深まっている。
			５　安心・安全・快適な地域づくり	生活利便性の向上と住民同士のゆるやかな見守り関係が日常生活の安心感を生み、安全で快適な生活ができている。
		基本目標３ 地域社会とのつながりを実感し、誰もが社会参加できるまち（仕組みづくり）	６　生活に困窮する人や不安を抱えている人への包括的な相談支援の充実	身近に相談窓口があり、本人や世帯の状況に応じて、一体的かつ計画的な支援が行われ、経済的自立や社会参加を促す仕組みがある。
			７　立ち直り（再出発）に寄り添い・支え合う地域づくり【再犯防止推進計画】	関係機関が相互に連携・協力して支援することで、犯罪や非行をした人が地域社会とのつながりを実感し、安心して暮らすことができている。
			●８　重層的支援体制整備事業による支援体制の充実【重層的支援体制整備事業実施計画】	地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対して、医療・介護・福祉などの支援機関や地域が受け止める支援ネットワークがあり、地域社会とのつながりが実感できている。
			９　権利擁護の推進【成年後見制度利用促進基本計画】	一人一人の思いや権利が尊重され、安心して自分らしく暮らすことができている。
			●10　地域福祉におけるＤＸの推進	デジタル技術を活用し、住民サービスの向上や地域を支える人材や福祉関係職員の負担軽減が図られ、安心して快適に暮らすことができている。